

台風 豪雨への備え

1001549 ID

市長がメッセージを配信

防災危機管理室 ☎224-5554
☎225-2895

台風や集中豪雨で、河川の氾濫などの災害が発生することがあります。日ごろから風水害に対する知識を身に付け、「自らの命は自らが守る」意識のもと、適切な避難行動が取れるように備えることが大切です。

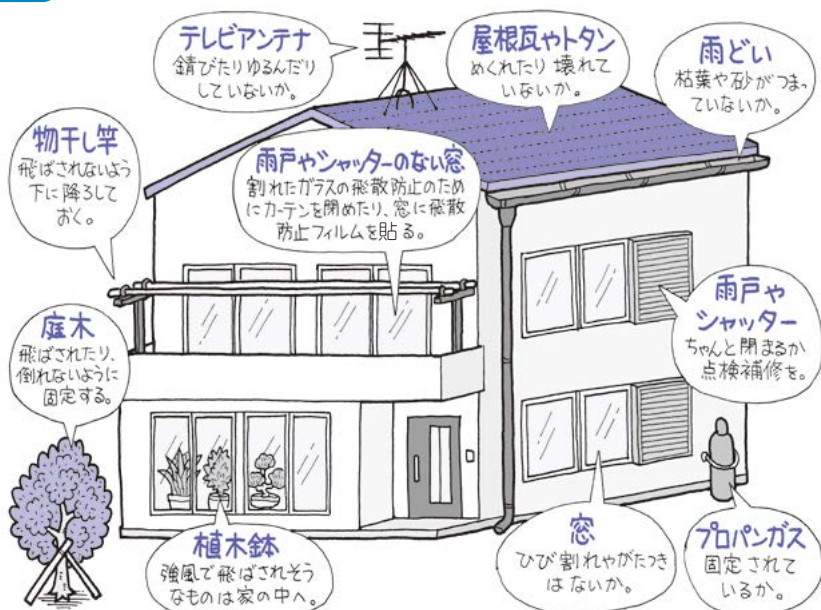
1 ハザードマップの確認

1001576 ID

ハザードマップ

「川越市水害ハザードマップ」には、浸水が想定される区域や水害時の危険箇所が掲載されています。いざというときに備え、自宅周辺の浸水箇所や避難経路、指定避難所等の場所を、日ごろから家族で確認しておきましょう。

2 事前の備えをしましょう



豆知識！ご存じですか

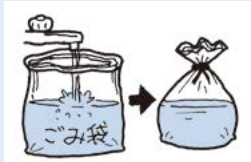
台風や豪雨の際、マンホールや下水管から水が溢れそうになることがあります。家庭からさらに水を流してしまうと排水の行き場がなくなり、家の中の排水口やトイレから汚水が噴き出す二次被害につながる恐れがあります。このような被害を発生させないためには、豪雨時にはお風呂や洗濯機などからの排水を控える、水のうを作って逆流を防ぐことも有効な内水対策の一つです。

水 のうの作り方・使い方

1018772 ID

ゴミ袋などを二重、三重に重ねて、半分くらいまで水を入れ、口をきつく縛る。

家庭内の下水の逆流を防ぐため、トイレは便器の中に、風呂は排水口の上の水のうを置く。



家の 周 りの備え

- ☐ 風で飛ばされそうな物は固定したり、屋内へ
- ☐ 側溝や排水溝は泥やごみを取り除き、水はけをよくする
- ☐ 雨水ますやし字型側溝の上に車乗り入れブロックなどを置かない
- ☐ 雨水ますの取水口の落ち葉やごみを取り除く

家の 中 の備え

- ☐ 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- ☐ カーテンを閉める（ブラインドを下ろす）
- ☐ 懐中電灯、携帯用ラジオ等、非常用具の確認
- ☐ 浴槽に水を張るなど生活用水の確保
- ☐ 非常用食料や飲料水の準備

3 住まいが被害を受けた時に最初にすること

1001620 ID

被災された方が一日も早く日常生活を取り戻せるように、行政もさまざまな支援をします。その支援を受けるためにも、被害状況を撮影しておきましょう。

* 罹災証明書（火災を除く風水害等の自然災害による被害）の申請は、市 ☎ または福祉推進課（本庁舎1階）にある申請書を ☎・☎。

1001899 ID

罹災証明書について

<イメージ図>



◆被害を受けた部屋・箇所はすべて撮影しましょう。

